

～おしえて!! 認知症～ =第6回=

認知症地域支援
推進員が教えます



認知症と老人性うつ病の違いについて

認知症とは、脳がダメージを受けて記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障が出る状態をいいます。高齢者のうつ病の場合、発病に際して何らかのきっかけを認めることが比較的多くあります。下記の表に認知症と高齢者のうつ病との違いをまとめました。

	高齢者のうつ病	認知症 (アルツハイマー型)
初期の症状	不眠・食欲低下など 体の不調など	物忘れ記憶障害など
症状の進行	何らかのきっかけで発症・進行する	長時間かけてゆっくり進行する
精神症状	お金が無い・借金がある・重い病気を患ってしまったと思込む妄想など	侵入妄想・ものとり妄想など

- ・認知症の人は、質問に対して、見当違いな事や的はずれた回答をします。またそのことを指摘すると、取りつくろったり怒ったりする様子が見られます。
- ・高齢者のうつ病の方の場合は、質問に対して、考え込んでしまい、回答がはっきりと出来ない場合が多い特徴があります。

高齢者の場合、認知症など他の病気との鑑別が必要となります。実際にはうつ病と認知症が合併することもありますし、また内科系の病気や脳外科系の病気で意識が障害されていることで、うつ病や認知症と誤解される場合もあるので、医療機関などで詳しい診察と検査を受けましょう。

【文献】NHK健康チャンネル

【お問合せ】潮来市地域包括支援センター ☎63-1288

認知症カフェ「いたこハートカフェ」
次回開催予定

日時 : 5月11日(水)
午後2時～3時30分

定員 : 10人(要予約)

場所 :
グループホームこころ内「カフェつぐみ」
(潮来市日の出1-21-1)

申込み : グループホームこころ
☎80-9055

3月の参加人数は0人でした🙇(^^)♪

潮来市消費生活センターからのお知らせ

独立行政法人
国民生活センター

新生活が狙われる？ 引越直後の訪問販売トラブル

【事例1】
引越当日に業者が換気扇フィルターの勧誘に訪れた。管理会社と関連があるかのような話で「居住者はみんな契約している」と説明されたので仕方なく契約したが、後日管理会社に確認したらウソだった。
(20歳代 男性)

【事例2】
引越当日に「管理会社から紹介された」と言って業者が訪問してきたので、業者の言葉を信じて水回りの防カビ工事契約をした。後日管理会社に聞いたら、紹介などしていないと言われた。だまされた。
(20歳代 女性)

👉 どうしてトラブルに遭ってしまうの？

- 引越直後は荷解きや手続きなどで忙しく、新しい生活に不慣れな時期でもあるため、いつもより冷静な判断ができなくなりがちです。
- 新生活が始まることの多い3、4月は特に注意しましょう。

👉 トラブルに遭わないためのポイント！

- その場ですぐに契約せず、管理会社に確認しましょう。
- 訪問販売で契約した場合、クーリング・オフができます。

【お問合せ】潮来市消費生活センター ☎62-2138

(午前9時30分～正午、午後1時～4時30分 ※土日・祝日・年末年始を除く)